

# ICT利活用トータル コンサルティングサービスのご紹介

(一社)九州テレコム振興センター (K I A I)

# ICT利活用でお悩みはありませんか？

地域にとって、どういうICT利活用が望まれるのだろうか・・・

整備した情報通信基盤は果たして有効に活用されているのだろうか・・・

地域の方々にもっとインターネットの魅力を知って欲しい・・・

地域からの情報発信をもっと効果的に行いたい・・・

ICT利活用事業にどう取り組んでいけば良いのか・・・

ICT分野の人材育成を進めたい・・・

(一社)九州テレコム振興センター(KIAI)  
ICT利活用トータルコンサルティングサービスを  
活用してはいかがでしょうか



# (一社)九州テレコム振興センター(KIAI)ご紹介

## 【組織沿革】

昭和63年

社団法人九州テレコム振興センター発足 郵政省九州電波監理局（現総務省九州総合通信局）所管

平成19年

九州情報通信連携推進協議会（K I A I：きあい）発足 九州内産学官関係者により設立

平成22年

社団法人九州テレコム振興センター、九州情報通信連携推進協議会（K I A I）が組織統合  
社団法人九州テレコム振興センター（K I A I）誕生

平成25年

公益法人改革に伴い、内閣府認可の一般社団法人へと移行

## 【組織概要】

活動ビジョン

地域・組織の垣根を越えた九州広域における高度情報化を産学官連携のもと推進

主な事業活動

- ・調査研究事業 ICT利活用を通じた地域活性化に関する調査研究事業を実施
- ・人材育成事業 地域情報化を担う幅広い人材を育成していくための事業を実施
- ・普及啓発事業 ICT利活用、並びに最新の情報通信技術等の普及啓発に関する事業を実施
- ・コンサルティング事業 インフラ設計から情報化計画に至るまで幅広いコンサルティング事業を実施

会員数

191 会員（平成26年7月1日時点）



～KIAIロゴ コンセプト～

- ・九州地図上の3本のリンクは「産学官」を表現しています。
- ・K I A Iの文字上にある白い点は穴を表現しています。これは様々な組織の壁に風穴を空け、垣根を越えた連携を進めていく思いがこめられています。



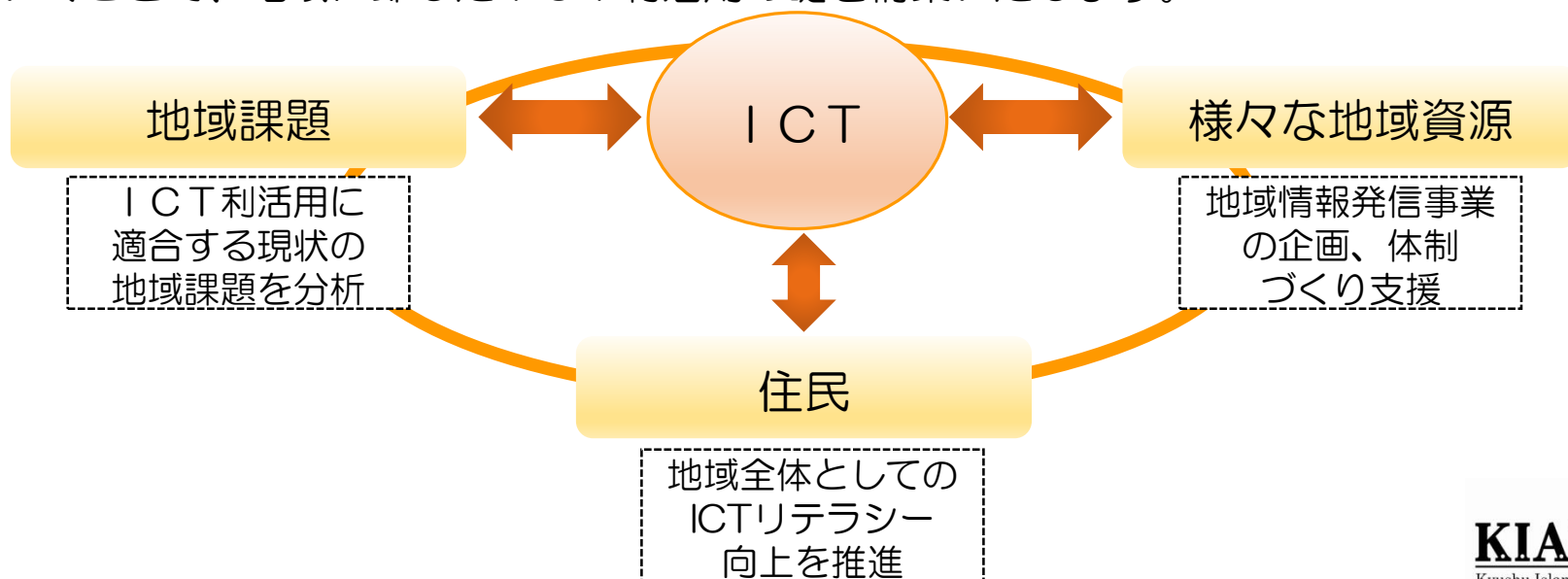
# ICT利活用トータルコンサルティングとは

ICT利活用に直接効く特効薬のようなものではありません。

現状分析調査、リテラシー向上への取り組み、普及啓発イベント事業、コミュニティづくり等、様々な地域情報化活動を連動させながら、総合的に進めていくことが不可欠となります。

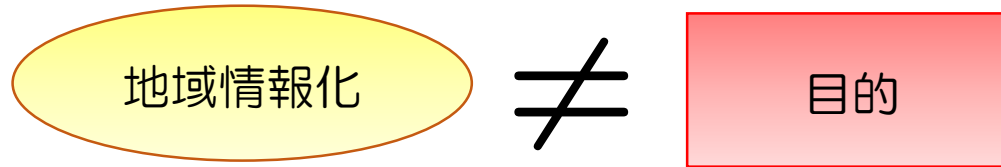
(一社)九州テレコム振興センターは、昭和63年の設立以来、一貫して九州の地域情報化活動に幅広く取り組んできており、情報化事業に関する様々なノウハウ、人脈が蓄積しております。本センターにおけるこのようなリソースを有効活用し、総合的・地域情報化活動を通じたICT利活用を図るコンサルティングサービス事業を本格的にスタートさせました。

本事業は、大きく、「地域課題とICT利活用分析事業」「地域実情に即したICTリテラシー向上事業」「地域情報発信事業」の3本から成り、これらの事業をトータルにマネジメントしていくことで、地域に即したICT利活用の礎を構築いたします。



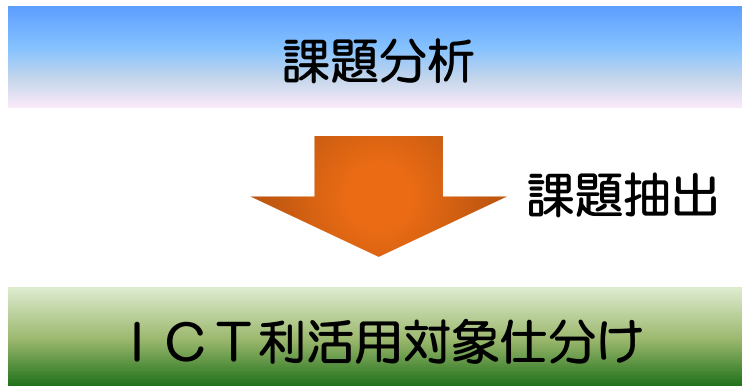
# 地域課題とICT利活用分析事業

地域情報化を行うことが、最終的な目的でしょうか？



本コンサルティング事業では、地域課題解決のためのICT利活用、という基本スタンスをまずは明確化します。

そのうえで、ICT利活用という観点からの課題分析を行い、今、地域にとって求められるICT利活用とは何か、をご提案いたします。



ヒアリング調査、アンケート調査、  
各種地域データ分析調査等を実施

- そもそもICTが必要なのかどうか
  - どのようなICT利活用が望ましいのか
- 具体的ICT利活用に向けた仕分けを実施

地域にとって求められるICT利活用の方向性等をご提案します

# 地域実情に即したICTリテラシー向上事業

ICT利活用推進において、地域としてのICT理解度（関心度）の向上を図っていくことは大変重要な取り組みとなります。

本事業に関しては、どのような地域においても以下のような点が共通の、また最も必要とされるテーマになるであろうと考えられます。

- ・高齢者の方々に対するインターネットの普及啓発
- ・情報モラル、情報セキュリティに対する理解促進（全世代対象）

しかしながら、地域はそれぞれ、風土、実情が異なっており、たとえ共通のテーマが存在するとしても、地域住民と直接関わることとなる本事業においては、画一的な研修メニューのみでは効果がでない場合があります。そこで、当センターでは、以下のように地域の実情を考慮し、できる限り当該地域に受け入れやすい内容でもって、本事業を進めていきます。

地域課題分析事業

ICTに関する  
地域内の実情を掌握

地域の実情を考慮した  
研修メニュー

開催地域

開催規模

カリキュラム

- ・地域内でのインターネット関心度の分布
  - ・潜在的利用者層の抽出
  - ・情報端末保有状況、及び主な利用形態
- 等々

地域にとって受け入れやすいリテラシー向上事業を行います

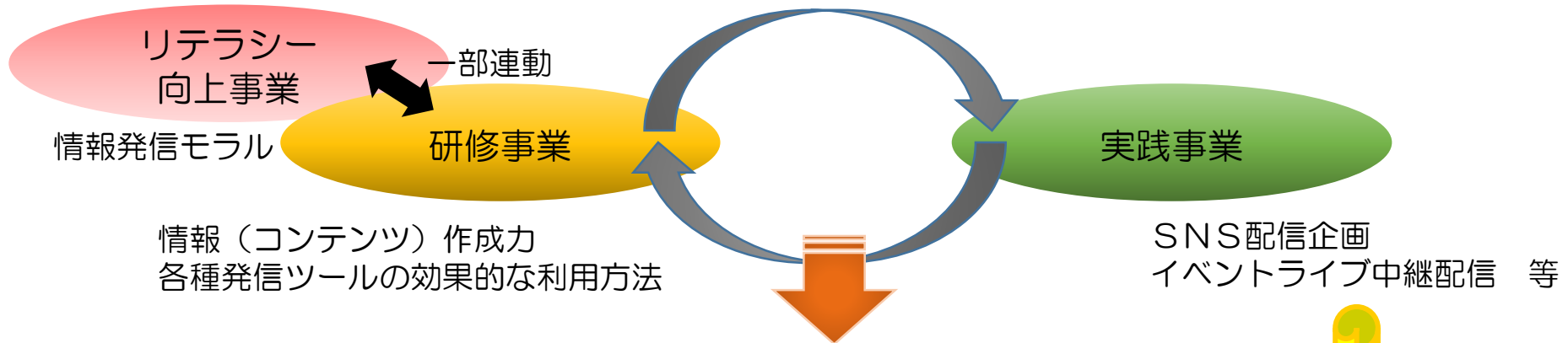
# 地域情報発信事業

地域活性化に向けた地域資源等の魅力を発信する事業は、様々な地域で、様々な形態でもって進められていますが、果たして上手く情報を発信できているのか不安な方も多いのではないのでしょうか。

また、SNSの浸透により、地域から情報発信を行える裾野自体も急速に拡大しており、一定の組織が行う従来型の情報発信だけではなく、そういった一個人の情報発信力を高めていくこともこれからの地域情報発信に向けては、重要な取り組みとなります。

情報発信を効果的に行うためには、いくつかのポイントがありますが、本事業では、必要に応じて、各分野の専門家も招きつつ、情報発信に関する研修事業から、具体的な情報発信事業の企画～実施までをトータルにサポートいたします。

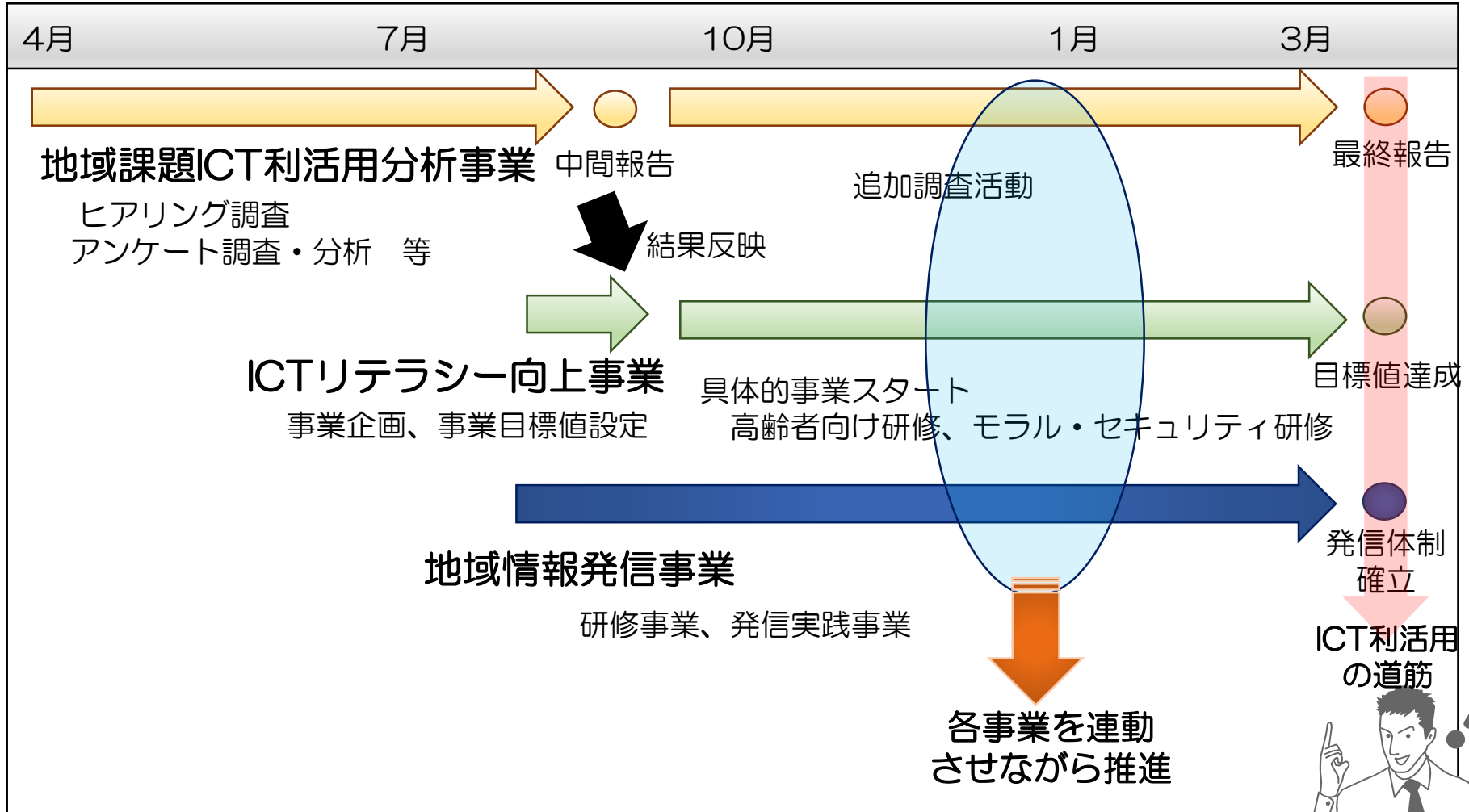
大切なことは、地域における継続的な情報発信体制を確立させることです。



地域における継続的な情報発信体制の確立を目指します

# コンサルティング実施スケジュールモデル案

## 1年間での活動モデル案





# コンサルティング事業導入までの流れ

下記の流れはあくまでも一例です。

導入6月前

導入3月前

導入1月前

## ●お問い合わせ（ご相談）



現状等を詳細にお聞きした後、センターの方でも事前調査を行い、具体的な導入プランの検討に入ります。  
（必要に応じて現地調査等も行います。）

## ●導入プランご提示～詳細検討



センターでの事前調査等に基づき、具体的な導入プランをご提示します。  
事業規模、予算、スケジュール等、詳細な点を含めた内容検討を進めていきます。

- 事業案確定
- 契約手続き



最終的にご納得いただいた事業案にて契約手続きを進めさせていただきます。

# お問い合わせ

具体的に本コンサルティングサービス利用をご検討したい方は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

なお、トータルサービスでなく、個々のサービス（例：アンケート調査等）のみのご利用も可能です。お気軽にご相談ください。

また、当センターでは、F T T H、防災無線、コミュニティFM等の情報通信基盤設計のコンサルティング事業実績も豊富です。

基盤設計から利活用に至るまでの総合的なコンサルティングのご提供も可能です。

（一社）九州テレコム振興センター（K I A I）

TEL：(096)322-0120 FAX：(096)322-0186

Emai [jim@kiai.gr.jp](mailto:jim@kiai.gr.jp)

URL <http://www.kiai.gr.jp>